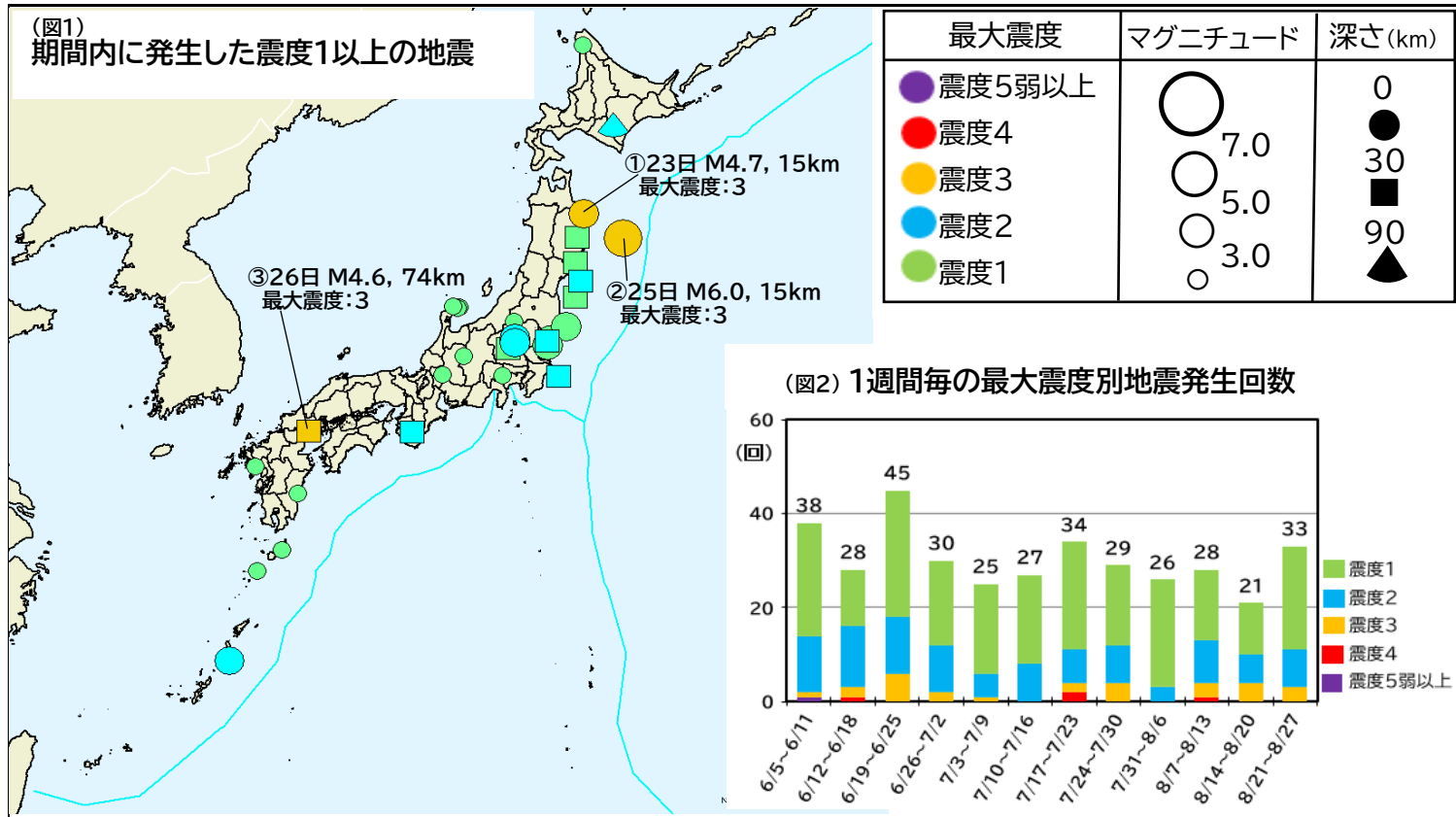


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典: 気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1, 図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が33回発生。最大震度は3。 ■
- ①8月23日00時03分に岩手県沖で発生した地震(M4.7、深さ15km)により、岩手県久慈市・普代村・野田村で震度3を観測したほか、青森県から宮城県にかけて震度2~1を観測。
- ②8月25日07時48分に三陸沖で発生した地震(M6.0、深さ15km)により、青森県、岩手県、宮城県で震度3を観測したほか、北海道から茨城県にかけて震度2~1を観測。三陸沖を震源とするM6.0以上の地震が発生したのは2019年4月11日に発生した地震(M6.2、深さ5km、最大震度3)以来、4年4カ月ぶり。
- ③8月26日22時29分に周防灘で発生した地震(M4.6、深さ74km)により、広島県と山口県で震度3を観測したほか、中国地方、四国地方、九州地方で震度2~1を観測。

トピックス

- 関東大震災から100年 ■
- ・9月1日は関東大震災から100年になることから多くのメディアで特集しています。本週刊地震ニュースでも関東大震災について振り返ってみます。
- ・発生したのは1923年(大正12年)9月1日です。地震の名称は「関東地震」と呼ばれていますが、一般的には「関東大震災」と呼ばれています。平成23年3月11日に発生した地震の名称は「東北地方太平洋沖地震」ですが、一般的には「東日本大震災」と呼ばれているのと同じです。
- ・関東大震災の最大震度は6です。当時の震度階級は震度6が最高でしたが、被害状況から現在の震度7だったと推定されています(図3)。
- ・津波も発生しており、三浦半島から伊豆半島東岸にかけて高さ数m以上の津波が来襲しました。

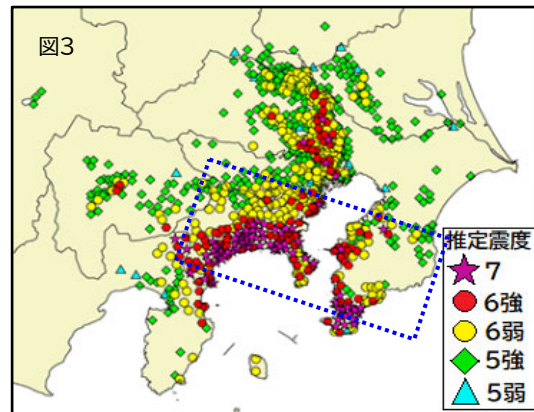


図3: 被害状況等から推定した震度分布図  
青破線は震源断層域 (内閣府資料に加筆)

地震観測体制や情報発表体制について当時と現在の比較

	当時	現在
震度階級	震度0~震度6の7階級	震度0~震度7の10階級
震度観測	気象庁職員や自治体職員等が体感した程度や被害状況から判断	計測震度計による観測
地震情報	即時的な地震情報の発表はなかった	地震発生から数秒の緊急地震速報など即時的に発表
津波警報	津波を予測する体制及び発表する体制はなかった	地震発生から3分後に発表

・被害を減らすためには、事前の備えが重要であることは100年前も現代も同じようです。